

テーマ

地域連携による新たな事業展開

## 「千葉海苔消費日本一」を契機に海苔需要の拡大を図る

### 千葉県海苔問屋協同組合

等の活動を始めた。

#### 事業・活動の内容

当組合による「千葉のりロール」の開発等、一連の海苔需要拡大の動きが千葉市、千葉県と連携することで軌道に乗り、千葉海苔消費3年連続日本一を実現。

#### 背景と目的

千葉の海苔は昔から「上総のり」として珍重され、色や香りが良い。海に近い千葉県では海苔は身近な存在で、お祝いには太巻き寿司を作るように、その食文化が現在まで続いている。総務省による平成23年の全国家計調査において、千葉市の干し海苔消費額が日本一となり、平成25年にかけて3年連続日本一に達成した。このため、当組合では、その下部組織である千葉海苔消費日本一実行委員会が中心となり、地域を代表する食文化として海苔を認知してもらうことを目的に「千葉のりロール」の開発

地域を巻き込んだ広がりのある活動となっている。

#### 活動の成果

「千葉海苔消費日本一」という事実が組合全体の結束力を高め、将来に向けた明るい展望を抱かせるものとなった。「千葉のりロール」の開発においても、消費者の目線での新たな商品を作り出そうとする中で、マーケティング手法の有効性を実感することができた。また、消費ニーズをしつかりと把握しようとする試みは、組合及び組合員の経営に資するところが大きい



▲海苔屋の朝市開催（組合事務所にて）

ものがあつた。こうした一連の動きが千葉市、千葉県と連携することで3年連続海苔消費日本一を実現させる原動力になり、4年連続海苔消費日本一を目標として、千葉のりロールの発売に長蛇の列が並ぶ様子も確認された。また、消費者の目線での新たな商品を作り出そうとする中で、マーケティング手法の有効性を実感することができた。また、消費ニーズをしつかりと把握しようとする試みは、組合及び組合員の経営に資するところが大きい



▲千葉のりロールの販売に長蛇の列（千葉城さくら祭りにて）

#### 千葉県海苔問屋協同組合

住所：〒260-0842  
千葉市中央区南町3-8-10  
設立：昭和33年9月  
出資金：42,000千円  
電話：043-268-0353  
URL：<http://www.chuokai-chiba.or.jp/chibanori/kumiai.html>  
業種：海苔卸売業  
組合員：42人  
組合専従者：1人